



北里大学同窓会栃木県支部
ニュース No.8
2012年5月1日発行

定期総会及び支部企画公開講演のお知らせ

支部長 滝 龍雄

2012年度の北里大学同窓会栃木県支部の定期総会及び支部企画公開講演会を下記の通り開催します。多くの支部会員のご参加をお願いします。

日時：

2012年6月30日（土曜日）

定期総会・支部講演会・懇親会 予定表

15:30 支部定期総会 受付開始

鶴亀の間前ロビー

16:00 支部定期総会 開会

16:30 支部定期総会 終了

16:30 支部企画公開講演会受付開始

鶴亀の間前ロビー

17:00 支部企画講演会 開始

自治医科大学付属病院病院長、
自治医科大学 消化器外科学・一般外科学教授
安田 是和 先生

演題：“臓器移植と日本人の心
“小児生体肝移植ドナー手術 200 例
の経験から“

18:15 懇親会受付

鶴亀の間前ロビー

18:30 懇親会開始

定期総会について

議題：

1. 総会成立の確認・開会
2. 議長選出
3. 活動報告
4. 会計報告、会計監査
5. 新役員の選出
6. 活動計画
7. 予算

支部企画講演会

自治医科大学付属病院 病院長

自治医科大学消化器・一般外科教授

安田是和先生（北里大学医学部1期生）

安田先生は昭和51年（1976年）3月、北里大学医学部の1期生として卒業し、直ちに自治医科大学付属病院消化器外科・一般外科にレジデントとして入職しました。レジデント終了後そのまま自治医大に残り、昭和60年（1985年）消化器外科・一般外科学講師となりました。デンマークへの留学を経て平成4年（1990年）自治医大救急医学助教授、平成12年（2000年）8月に自治医大消化器外科学・一般外科学教授に就任しました。

更に、東京大学医学部出身者が代々の務めていた自治医科大学付属病院 病院長に、この4月より私立大学の出身者として初めて就任しました。

自治医大は、栃木県内の移植医療のパイオニアとして、豊富な肝移植の手術例を誇っていますが、安田先生はその中心で活躍されています。経験に基づく、貴重なお話をして下さる予定ですので、ご期待下さい。

今回の支部企画講演会は、下野新聞社、北里大学同窓会のご後援を頂き、安田先生のご後援を広く県民に聞いて頂きたく公開としますが、特別に卒業生枠を設けてあります。同封してあります返信用葉書に必要事項を記入して、5月中旬に投函して下さい。会場は栃木県民の心の故郷とも言うべき“二荒山神社”境内にある「二荒山会館」です。

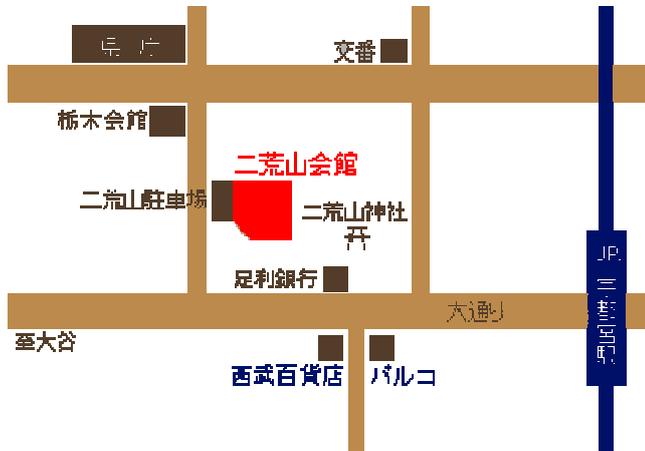
懇親会について

懇親会会費

40歳未満の支部会員 3,000円
40歳以上の支部会員、その他 5,000円

会 場：二荒山会館 鶴亀の間

〒320-0026 宇都宮市馬場通り 1-1-1
Tel:028-622-5273 Fax : 028-627-9198
JR 宇都宮駅前発路線バスで約 5 分
馬場町二荒山神社前下車



返信葉書を投函する前のお願い

新運営委員の自薦・他薦について：

定期総会では新運営委員の選出を行います。新運営委員の選出は、これからの支部活動を活性化するために非常に大切です。「**我こそは支部活動を変えてやる**」という元気な方の立候補を期待します。立候補される方は、返信用葉書にその旨を記入して下さい。

公開講演会パンフレットへの広告の募集について

安田先生の公開講演会の折、参加者にパンフレットを配布しますが、そのパンフレットに掲載する広告を募集します。一区画 A4 版の 8 分の 1 の大きさを 5,000 円です。掲載希望の方は、返信用葉書にその旨、記載して下さい。後程、担当者より連絡いたします。合計 16 区画を予定していますので、返信用葉書の到着順に受け付けます。奮って申し込み下さい。

支部総会・支部講演会・懇親会の参加申し込み

本支部講演会は、同窓会会員の予約数を確保してあります。同封の葉書に必要事項を記入して、5 月 25 日必着で返信下さい。

記入事項は、

- 1：定期総会への出欠
- 2：支部企画公開講演会への出欠
- 3：懇親会への出欠
- 4：新運営委員への立候補の有無
- 5：講演会パンフレットへの広告掲載希望の有無

です。支部企画講演会への参加は、栃木県支部会員の申し込みを優先します。

栃木県支部ホーム・ページ開設のお知らせ

ホーム・ページ (HP) 担当 天谷 仁一
栃木県支部では岸善明副会長以下、芝田周平、磯恵美子、新島健司、天谷仁一、齋藤けさよ、山内久恵、長谷川恵美子の各委員で広報担当を設置し、HP 開設の準備を進めてきました。他支部のホーム・ページの開設状況や内容を検討し、この度、栃木県支部としてのホーム・ページの準備もほぼ終わり、6 月 1 日より、以下のメールアドレスで開設いたします。

tochigikenshibu@kitasato-dousoukai.jp

トップページには

- ・表紙
- ・新着情報、更新情報
- ・各ページへのバナー
- ・問い合わせメールのリンク
- ・アクセスカウンター

等を設置します。更にバナーとしては

- ・イベント情報
- ・過去の支部会ニュース
- ・現在の運営委員名簿
- ・支部規約
- ・リンク集

を予定しています。

ホーム・ページを開設して一番の問題は、更新が遅くなることです。支部のホーム・ページでは、最低、月に一度は更新をする事を目標としています。又、問い合わせメールの管理/閲覧は、当面、天谷と滝支部長が担当します。

当面、「無料ホーム・ページ」で作成しますが、将来的にはよりクオリティの高い方法にする事を考えています。

6 月 1 日になりましたら、Yahoo や Google などの検索エンジンで「北里大学同窓会栃木県支部」というキーワードでホーム・ページを検索し、アドレスを「お気に入り」に加えて下さい。ホーム・ページをご覧になって気の付いた点、改良すべき点等が御座いましたらどしどし管理人宛にお知らせ下さい。

栃木県支部のホーム・ページは支部の運営委員のものではなく、支部の会員皆様のものでもあります。双方向的に、開かれたホーム・ページを作り上げるには、皆様のご意見・ご希望が何よりの手助けとなります。

皆様のご意見等を基に、大いに支部の皆様のお役に立ち、かつ多く見てもらえるホーム・ページとなるよう努力します。

支部のホーム・ページに掲載する情報もお待ちしていますので、どうぞ宜しくお願いします。

新年会開催報告

新年会世話人

南 亜矢子、阿部 祥次

平成24年、北里大学同窓会栃木県支部の新年会を、2月18日(土)宇都宮市で開催いたしました。参加者は約20名で、最初に乾杯をしてそれぞれ自己紹介を行いました。大きい大学ということもあり、様々な学部・学科を卒業した同窓生が集まりました。その後、北里大学関連グッズをかけたビンゴ大会で大いに盛り上がりました。序盤はビンゴが揃う方がなかなか現れず、どうなることかと思いましたが、皆さん懐かしい品を片手にまるで大学生の様にはしゃいでいました。その後、お互いの大学時代の話や現在の状況について楽しく語りました。最初はお互い全く知らない人も多かったですが、その頃にはもう同じ大学の仲間となり、楽しく飲んでいました。

今回の新年会は、若手の同窓生が楽しめる会を目的とし、私共が世話人に任命されました。初めての運営・参加であったため、不安もありましたが、滝支部長を初め役員の皆様の支えもあり、無事開催することができました。私共の名前を見て参加を決意して下さった方もおり、とても嬉しかったです。

あの頃の学生時代とは違い、時間を作ることも難しくなったと思います。しかし、この栃木に同じ学び舎で育った仲間がいるのですから、皆様も時間の許す限り昔話に花を咲かせてみませんか？

新年会開催報告

薬学部薬学科？卒 朝倉秀子

新年会のお知らせをいただき、同窓会栃木支部の会に初めて参加させていただきました。私は結婚して栃木に参りましたが、今まで栃木在住の同窓生の方にお会いしたことがなかったため、いい機会だと思い勇気を出して参加しました。どなたも存じ上げないので、会場になっていたレストランに入るまでは不安でした。

座席はくじで決まってゆき、同じテーブルの方のお話の輪にすぐに入れていただきました。途中、ビンゴゲームもあり、大盛り上がりでした。(賞品には北里大学のロゴ入りのもあり、驚きました。)

部活の同窓会とは違い、フレッシュマンもいらっしやれば、同じ年頃の子育てをしながらお仕事をされている方、子供たちを一人前の社会人に育て上げ、仕事と趣味に充実している方、診療を続けながら社会を変えて行こうと奮闘されている方、いろいろな方とお話ができ、私にはとても心地よい刺激となりました。初対面なのに、すぐに受け入れてくれて親しくお話ができるなんて、同窓会って素敵な場ですね。

今回は6月30日に、安田是和先生のお話が伺えると

のことで、連絡会員約170名の栃木支部。また素敵な出会いと、明日への活力を充電できるように、参加させていただこうと思っております。執行部の皆様、ご自身のお仕事もお忙しい中、いろいろな御準備と御苦労、ありがとうございます。ますます素敵な輪が広がる栃木支部になりますように、お祈り申し上げます。

北里大学・栃木県支部会員の話題

安田是和先生自治医科大学医学部附属病院病院長 就任祝賀会開催報告

新島内科クリニック新島健司(医学部一期生)

安田是和先生の自治医科大学医学部附属病院病院長就任祝賀会が去る平成24年4月21日に宇都宮市内のレストランで開催された。当日は30名を超える卒業生が参集した。自治医科大学で研修生活を安田先生と送った1-2期生も5名参加した。

安田是和先生は昭和51年3月北里大学医学部を一期生として卒業された。5名が北里大学から自治医科大学で研修生活を送った。安田先生は外科学講座に入局し、森岡恭彦教授(昭和天皇の主治医として有名な先生)の元で消化器外科を専攻した。安田先生の手術は素晴らしく、後になって皆が先生の手術を神の手の手術と畏敬の念を持って語られるようになった。デンマーク留学で臓器移植の研究に従事され、帰国後外科学講座准教授、教授と昇任され、平成19年に外科学講座主任教授に就任された。そして今回病院長にお就きになった。私共同窓生、特に栃木県支部にとって誠に嬉しい限りである。

安田先生が設立に尽力された北里大学医学部同窓会栃木県支部について簡単に触れておきたい。栃木県支部が設立されたのは平成18年11月である。平成18年6月20日に発起人会、7月20日に設立準備会が招集され、討議を重ね、設立することが出来た。平成18年11月18日に、栃木県宇都宮市のホテルフェアシティ宇都宮に於いて栃木県支部設立総会が開かれた。北里大学医学部同窓会本部から、同窓会長大内孝文先生、副会長(支部担当)永岡隆先生のご臨席を賜った。その後栃木県支部は毎年総会を開き、会員との有意義な交流の場となってきた。平成19年7月14日に開催された第2回総会では、自治医科大学附属病院で研修を開始した5名の新会員が出席し大いに盛り上がった事は記憶に新しい。

さて当日は阿久津行永先生の乾杯の後、同級生から研修時代の安田先生のエピソード等が披露され、駆けつけた栃木県支部の同窓生から祝辞を頂いた。今後のご活躍を期待する言葉に溢れ、大いに盛り上がった。中にはテレビニュースで医療過誤の記者会見は決して行わないで欲しいなどの話題も飛び出した。安田先生は挨拶の中で、恩師森岡先生から「よく頑張ったな。」とのねぎらいのお言葉をいただいたことを披露し、こう続けられた。「私は外科医として当たり前のことを淡々と行っただけで、頑張ったという意識は全くなかった。」と述べられた。まさ

に安田先生の非凡さを象徴しているものである。果てしなく続く祝宴も、東博先生の締めでお開きとなった。



北里大学卒業生初の国会議員として

北里大学医学部 19 回生
脳神経外科 衆議院議員 石森久嗣

現在宇都宮の独立行政法人病院機構 栃木病院にて、部長先生である、北里大学医学部の先輩でもある石原雅行先生のご配慮も頂き、月曜日の脳神経外科の外来診療を続けながら、国会においては厚生労働委員会の委員として厚生労働分野の改革のため、日々闘いの駒を進めているところです。

昭和 58 年 (1983 年) の厚生労働省保険局長の発言された医療費亡国論は、あれから 20 年経過した現在でも、財務省・厚生労働省はその意思を受け継ぎ、現場の混乱は考えず、その効率性を求めた改革は推し進められています。今回の社会保障と税の一体改革の内容を見ても、医療は選択と集中により中小病院の切り捨てが極まり、介護は施設から在宅へ大きな転換の道筋は変わっておりません。もちろんそれらを否定するものではありませんが、今まで医療は、提供する側、管理する側の理論で進められてきました。しかしヨーロッパで提供される社会保障は、利用者の側に立ったものであり、一人の人間が生まれ、成長し成人から更年期を迎え、老いて死に至る経過の中で、国家の補償をいかにその利用者の立場で考え、自助、共助、公助のもと提供できるかを追求されたものです。

今我々に問われているのは、昨年の東日本大震災で世界から評価された絆を、当たり前の中で見直し、その考えを生かす事だと思えます。まだまだ道半ば更なる闘いは続くと思えます。より良い制度のもと、日本で生まれて良かったと思える社会の実現のために、北里大学出身の皆様と共に歩みをつづけて参りたいと思えます。

岸 善明です。第 83 回第一美術展に出展します

来る 5 月 30 日 (水) から 6 月 11 日 (月) に、東京港区六本木にある国立新美術館で開催される第 83 回第一美術展に本支部の会員の岸 善明君が出展することとなりましたのでお知らせします。

同美術館では、同じ時期に企画展として「セザンヌーパリとプロヴァンス」3 月 28 日(水)–6 月 11 日(月)と「大

エルミタージュ美術館展;世紀の顔・西欧絵画の 400 年」4 月 25 日(水)–7 月 16 日(月・祝)が開催されております。皆さん、時間がありましたら是非足をお運び下さい。

獣医畜産学部 伊藤教授監修の 「家族を守る!! 放射性物質を除く食事」出版

昨年 3 月 11 日の東日本大震災時に発生した東京電力福島第一・第二原子力発電所の放射能漏れ事故以来、放射性セシウムの検出は食生活にも大きな不安を高めていますが、放射性物質を食生活から取り除いたり、放射性物質の濃度を低下させるコツや食事法を判り易く解説した「家族を守る!! 放射性物質を除く食事」という本が放射線生物学の専門家である獣医学部の伊藤伸彦教授の監修で出版され、子供がいる家庭などでの安心・安全な食卓作りに役立つものと期待されています。

北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所が採取した酵母から「福香(ふくこう)ビール」を発売

北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所(岩手県釜石市)は、世嬉の一酒造株式会社(岩手県一関市)、岩手県工業技術センターと共同で、盛岡市の天然記念物「盛岡市割桜」の酵母を使用した「福香(ふくこう)ビール」を開発した。えぐみが少ない柑橘系の爽やかな風味が特徴で、東日本大震災から 1 年となる 3 月 11 日に東北復興支援ビールとして販売が開始された。

「福香(ふくこう)ビール」には、東日本大震災の大津波で甚大な被害を受けた同研究所の瓦礫の中から奇跡的に救済された酵母が用いられ、ビール醸造に成功した。売上げの一部は三陸沿岸地域の漁業復興に役立てられる。是非おいしいビールを飲み、復興に協力しましょう。



栃木県支部ニュース原稿募集中

支部ニュースは、会員の皆様の交流の場です。皆様の近況、各種企画や情報などを募集しています。皆に知ってほしい、教えたいという情報、こんな活動をしている卒業生が居る、私の自慢、近況等、是非、原稿をお送り下さい。

公序良俗に反しないものであれば内容は問いません。

送り先: 329-0434 下野市祇園 2-24-1 滝 龍雄

e-mail: tatabox@kitasato-u.ac.jp